

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

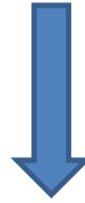
事業名	サポステ・学校連携推進事業		担当部局庁	職業能力開発局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	キャリア形成支援室		キャリア形成支援室長 浅野 浩美	
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-1-5 若年者のキャリア形成を支援する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)、日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)、若者雇用戦略(平成24年6月12日雇用戦略対話合意)、生活支援戦略(平成24年7月5日中間まとめ)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域若者サポートステーションにおいて、地域の学校等との連携を構築して、切れ目のない支援を行い、ニート化の未然防止等を図るとともに、「貧困の連鎖」の防止を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域若者サポートステーションと学校等との連携体制を構築し、新たに在学生に対するアウトリーチ(訪問支援)を行う。また、切れ目のない支援を行えるよう、サポステと学校などが中退者情報を共有し、中退者の支援を強化する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算				1,590	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					1,590	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	アウトリーチ(訪問支援)のべ件数	成果実績	件				85,000
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	サポステ・学校連携推進事業設置数	活動実績	箇所				100
	サポステへの誘導人員	(当初見込み)	人				4,800
単位当たりコスト	18,649 (円/1件)		算出根拠	単位当たりコスト=18,649 (円/1件) 概算要求額(1,590百万円)/アウトリーチ(訪問支援)のべ件数(85,260件)※ ※平成23年度高校中退者等アウトリーチ事業におけるアウトリーチのべ件数から推計 アウトリーチ(訪問支援)のべ件数(85,260件)= 平成23年度高校中退者等アウトリーチ事業アウトリーチのべ件数(12,789件)×平成25年度サポステ・学校連携推進事業設置予定数(100か所)/平成23年度高校中退者等アウトリーチ事業設置力所数(60か所)×平成25年度サポステ・学校連携推進事業訪問支援員予定数(4人)/平成23年度高校中退者等アウトリーチ事業訪問支援員数(予算上)(1人)			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	(目)職業能力開発支援事業委託費		1,590	新規要望			
	計		1,590				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	「若者雇用戦略」の取りまとめを踏まえ、本事業はサポステと学校等の若者支援機関との連携を強化し、積極的なアウトリーチの実施等に取り組むものである。また、「生活支援戦略」における中間とりまとめでも盛り込まれており、役割の大きい優先度が高い事業であり、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	効率的な予算執行に努めるとともに実績等を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。		
予算監視・効率化チームの所見			
-		「若者雇用戦略」の取りまとめを踏まえ、本事業は、サポステと学校等の若者支援機関との連携を強化し、新たなネットワークの構築、積極的なアウトリーチの実施等に取り組むものである。また、「生活支援戦略」における中間取りまとめでも貧困対策の一つとして、盛り込まれており、役割の大きい優先度の高い事業である。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-

サポステ・学校連携推進事業の資金の流れ

厚生労働省
職業能力開発局

1,590百万円



【企画競争・委託】

地域若者サポートステーション
(NPO、株式会社、学校法人等)
1,590百万円

学校との連携体制の構築、在学生に対するアウトリーチ(訪問支援)、学校等との中退者情報の共有などを実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					